

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2019年12月25日

事業所名 はばたき園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	人数や状況に応じて活動内容で各部屋に分かれての活動等を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	利用者さんの様子に応じて職員の調整をおこなっています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	事業所を修繕や改築等で変更ができる部分に関して行うことができます。しかし、室内の大きな段差等は改善が難しい箇所もあるため、職員を手厚く配置し、バリアフリーとなるようにサポートしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	常勤職員が中心となり、計画を立てて行い、振り返り、改善するようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	評価をいただき、職員間で共有を行っています。また、その時々で頂いた意向を職員間で共有し、改善できるように話し合いの場を設けるようにしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公開させていただいています。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	常に見学に来ていただくことが多く、その時にいただいたご意見は業務へ活かせるようにしています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	必要に応じて外部の研修への参加はお願いしていましたが、内部での研修機会の不足を感じた為、意見が上がった事柄を中心に内部での研修機会も設けていきます。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	常勤職員が中心となり、アセスメントをおこなっています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	発達検査のようなツールは活用していませんが、登録カード等の情報は活用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	年齢に応じた活動を意識して常勤職員が中心となってプログラムの立案を行っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	固定化されないように、月ごとにプログラムの検討を行っています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	月ごとに課題等を検討し、支援を行っています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	利用者様の様子に応じて必要な活動を検討し、個人、集団での活動を計画しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	送迎等があり、全員がそろっての状況では取り組めておりませんが、同じ内容を確認できるようにホワイトボード、日報等を活用し、内容や役割を確認しています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	送迎等があり、全員そろってとまではいきませんが、職員間で支援の振り返り、共有を行うことができています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	振り返りと同様に、記録もとり、次の支援へ活かせるようにしています。記録を支援の検証・改善に活かせるように今後も工夫をしていきたいと思ひます。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	相談支援事業所のモニタリングへ同席させていただいたり、日々の保護者様への引継ぎ時に情報集を行い、計画の見直しが必要か判断をするように心がけています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	ガイドラインを確認しながら、様々な支援を提供できるように心がけています。ガイドラインをいつでも確認ができるように工夫していきます。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	状況に応じて、ご本人をよく理解している指導員に参加をしてもらえるようにしています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	適宜、情報共有に努めています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	残念ながら、看護師さんの配置等もなく医療的ケアが必要なお子さんを受け入れる体制ができておりません。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	当事業所は高校生を主とした事業所の為、就学前ではなく、中学生の時に利用していた事業所等と情報共有に努めています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	卒業後に利用する事業所さんからの要望があれば、情報提供ができるようにしています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	同法人内に児童発達支援センター、地域療育センターもある為、一緒に研修を行うことや助言をもらえる機会が多くあります。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	今年度は、まだ機会を設けることができておりません。今後、提供ができるように調整を図っていきたいと思います。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	参加させていただいています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	帰宅時の引継ぎ等でお話をさせていただき、一緒に今後のサポートについて検討させていただいています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	当事業所は高校生を主とさせていただいていますので、ペアレントトレーニングはできておりませんが、保護者の方に少しでも寄り添えればと思っています。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明をさせていただいています。

保護者への説明責任等	③① 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談支援専門員と連携して、必要に応じて、対応ができるようにしています。
	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	親子企画等で顔を合わせていただく機会等を持てるようにしております。
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	迅速に対応ができるように、書面等にすぐに記入し、指導員同士で共有できるようにしています。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	おたよりや、予定表などで、事業所の様子を発信しています。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	取り扱いには十分注意しています。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	意思を少しでも伝えてもらえるように、利用者さんそれぞれに必要なサポートを検討しながら支援を行っています。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	行事への招待はできておりませんが、買い物体験やカラオケへ行くなど地域へ出て行くことを意識しています。
	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルはできていますが、保護者の方へのお伝え不足を感じた為、書面でお伝えするなど工夫していきたいと感じています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	利用者さんと一緒に定期的に訓練を行えるようにしています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人が事業所に入る前に行う研修等でしっかりとお伝えができています。1年の中でも繰り返し、虐待を意識してもらえる機会を作りたいと思います。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	契約時をはじめとして、お伝えをすること、個別支援計画への記入もさせていただいています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギーをしっかりと把握して対応ができるようにしたいと考えております。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットは作成し、共有できるように工夫しています。